

2015年度 旭川ウェルビーイング・コンソーシアム
「あさひかわオープンカレッジ」のご案内

共催: 旭川市教育委員会

日時: 2015年9月12日～11月21日(土曜日)全6回 13:00～15:00

場所: フィール旭川7階 講義室(日によって場所が変わります。裏面へ記載)

一般社団法人旭川ウェルビーイング・コンソーシアムと旭川市教育委員会
とが連携し市民のための公開講座を開催します。

(資料代として各1講座、500円いただきます)

テーマは「もっと知りたい旭川Ⅱ
～旭川のなりたちとこれから～」

9月12日(土)「高齢者の食と健康」

講師: 旭川大学短期大学部 教授 豊島 琴恵

9月26日(土)「あさひかわをつくる あさひかわでつくる」

～住まいと建築、そして街～

講師: 東海大学 教授 大野 仰一

10月10日(土)「高専の技術と農業」

講師: 旭川工業高等専門学校 教授 佐竹 利文

10月24日(土)「レゴ・マインドストームNXTを使って

ぶつからない車をつくる」

講師: 北海道教育大学 教授 渡壁 誠

10月31日(土)「旭川大学教員が考える学生による

コミュニティづくりについて」

講師: 旭川大学 准教授 浅沼 大樹

11月21日(土)「旭川でグローバルな寄生虫病検査法を開発する」

講師: 旭川医科大学 教授 迫 康仁

お申込み・お問合せ 一般社団法人 旭川ウェルビーイング・コンソーシアム

TEL & FAX 0166-26-0338

Mail awbchiroba@gmail.com



旭川ウェルビーイング・コンソーシアムでは、市民のみなさんの身体的・精神的・社会的な健康の達成と、元気な地域の形成に貢献できるよう様々な活動を行っております。本講座も生涯教育のひとつとして、単なる知的興味の満足や伝達に終わるのではなくともに地域の課題を考え、地域づくりに取組む契機となることを目指しております、お気軽に参加ください。（興味のある講座だけでも受講できます）

定員：各講座30名（10/24は15名）

募集開始日：8月20日（木）10時より

（道民カレッジ連携講座：各2単位）

講義概要；

9/12（土） 「高齢者の食と健康」 （共用会議室2）

年齢が進むにつれて塩味や甘味に対する感覚や飲み込み機能が低下します。

そのことを意識し、楽しく・おいしく食べ続けていただくために、改めて食事の形態や五感を考えてみたいと思います。

9/26（土） 「あさひかわをつくる あさひかわでつくる」

～住まいと建築、そして街～

（シニア大学講座室）

私達が暮らす旭川は、北海道第2の都市と没個性的に言われて来ました。しかし今日、地域が持つ多くの豊かな個性が評価され、成熟した街になり始めました。その要素である住まいと建築、そして街を考えます。

10/10（土） 「高専の技術と農業」

（シニア大学講座室）

旭川高専は、旭川を中心とした北海道の子供たちを技術者として世に送り出すことが主な目的ですが、地域発展のための取り組みも重要な役割の一つです。農業が主要な産業であるこの地域に、農業の機械化、IT化のために高専が貢献できることを実例を交えて紹介します。

10/24（土） 「レゴ・マインドストームNXTを使ってぶつからない車をつくる」

（シニア大学講座室）

NXTで実際に前後に動く車両を作り、距離センサを利用して障害物にぶつからないようにプログラミングします。

10/31（土） 「旭川大学教員が考える学生によるコミュニティづくりについて」

（シニア大学講座室）

人口減少、少子高齢化、若者の流出、地方財政の悪化など旭川市を取り巻く社会経済環境は厳しい。そんな中で、未来の旭川にとっての一つの希望が地元出身の大学生の存在である。地元志向の強い大学生の存在は、これからの旭川の未来に非常に重要なファクターである一方、現在のところそのポテンシャルが十分発揮されているとは言い難い。そのポテンシャルを引き出すために大学教員として何ができるか、大学生がまちに貢献できることは何か、考えてみたい。

11/21（土） 「旭川でグローバルな寄生虫病検査法を開発する」

（共用会議室2）

日本の遭遇する機会が激減した寄生虫病は、世界に目を向けると未だに猛威を振っています。そのような寄生虫病に対するグローバルな検査法を旭川で開発していますので、その概要を紹介します。